

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による経済活動の落ち込みから回復に向かっているものの、欧州経済不安による円高の進行や不安定な雇用情勢などの先行きの不透明感から、消費者の生活防衛意識が高く、引き続き低価格志向型の消費が継続するなど、依然として厳しい環境が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、異業種参入、業務・資本提携やM&A等の生き残りをかけた業界再編の動きが加速する中、消費の低迷、出店競争や価格競争の波を受け、業界を取り巻く環境は一段と厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは「ドラッグ&調剤」を中心としたビジネスモデルの推進に注力するとともに、お客様のニーズに対応する商品戦略の推進、販売管理費等のコスト削減に取り組んでまいり、既存店も好調に推移をいたしました。

店舗の出店・閉店につきましては、新規16店舗を出店、閉店1店舗となり、当第1四半期連結累計期間末の当社グループの店舗数は711店舗となりました。

(単位：店)

	前期末店舗数 (平成23年8月31日)	出店数	閉店数	第1四半期末店舗数 (平成23年11月30日)
ウエルシア関東 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	385 (304) (310)	7	—	392 (307) (319)
高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	120 (70) (64)	3	—	123 (70) (68)
寺島薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	123 (70) (85)	4	1	126 (71) (88)
イレブン (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	68 (23) (47)	2	—	70 (24) (49)
合 計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	696 (467) (506)	16	1	711 (472) (524)

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区分	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	16,998	101.0
調剤	6,855	131.6
化粧品	12,948	107.4
家庭用雑貨	10,228	108.9
食品	16,692	115.0
その他	6,201	105.2
合計	69,924	109.4

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は69,924百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業利益2,362百万円（同20.4%増）、経常利益2,507百万円（同18.2%増）、四半期純利益1,270百万円（同112.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,145百万円増加し、109,416百万円となりました。これは主に、商品が4,397百万円、有形固定資産が1,738百万円増加したものの、現金及び預金が2,392百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して2,161百万円増加し、71,083百万円となりました。これは主に、買掛金が3,921百万円、短期借入金が2,479百万円が増加したものの、未払金が1,127百万円、未払法人税等が2,873百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して984百万円増加し、38,333百万円となりました。これは主に、配当金335百万円の支払による減少に対し、四半期純利益1,270百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

「平成23年8月期決算短信」(平成23年10月14日付)において公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

この適用により、当第1四半期連結累計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第1四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

1株当たり四半期純利益金額	35円53銭
---------------	--------

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,591	9,198
売掛金	5,347	5,813
商品	28,398	32,795
その他	4,445	4,019
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	49,778	51,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,269	17,159
土地	6,320	6,290
リース資産（純額）	5,865	6,240
その他（純額）	1,394	1,898
有形固定資産合計	29,850	31,588
無形固定資産		
のれん	9,522	9,179
その他	662	642
無形固定資産合計	10,185	9,821
投資その他の資産		
差入保証金	13,053	12,962
破産更生債権等	70	69
その他	3,420	3,247
貸倒引当金	△86	△98
投資その他の資産合計	16,457	16,181
固定資産合計	56,492	57,592
資産合計	106,271	109,416







